

キャッシュ・フロー計算書

第50期（平成15年4月1日から平成16年3月31日まで）

（単位：千円）

科 目	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,231,523
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 989,510
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 97,670
IV 現金及び現金同等物の減少額	144,342
V 現金及び現金同等物期首残高	1,294,129
VI 現金及び現金同等物期末残高	1,438,471

利益処分

第50期（平成16年6月29日承認）

（単位：円）

科 目	金 額
I 当 期 未 処 分 利 益	268,668,398
II 任 意 積 立 金 取 崩 高 固定資産圧縮積立金取崩高	6,386,638
合 計	275,055,036
これを次のとおり処分いたします。	
III 利 益 処 分 額	182,276,250
1. 利 益 配 当 金 （1株につき7円50銭） 普通配当5円00銭 記念配当2円50銭	32,276,250
2. 任 意 積 立 金 別 途 積 立 金	150,000,000
IV 次 期 繰 越 利 益	92,778,786

（注）固定資産圧縮積立金取崩高は租税特別措置法に基づくものであります。



株式会社 **スガイ** エンタテインメント

〒060-0063 札幌市中央区南3条西1丁目8番地
TEL011-241-3951

事業報告書

第50期

（平成15年4月1日から平成16年3月31日まで）

SUGAI ENTERTAINMENT CO., LTD.

営業の概況

アミューズメント施設業界におきましては、高速通信回線を利用したネットワーク型ゲームの普及、大型機種を中心とするメダルゲーム人気などにより堅調に推移しました。映画興行界におきましては、シネマコンプレックス（以下「シネコン」）の増加、「マトリックス リローデッド」・「踊る大捜査線 THE MOVIE 2 レインボーブリッジを封鎖せよ!」・「ファインディング・ニモ」・「ラスト サムライ」・「ロード・オブ・ザ・リング 王の帰還」などの大ヒットにより好調に推移しました。その一方で従来のシネコン対既存館の構図に加えて、シネコン同士による競合も見られるなど競争が激化しております。

このような中、当社は、ヒットゲーム機の積極的な導入、既存施設へのメダルコーナー、ダーツバー新設を含むリニューアル実施などの活性化策を図りました。また、平成15年5月31日には超大型複合アミューズメント施設スガイディノス旭川をオープンしました。

当期の売上高につきましては、既存施設において前期好調だったゲーム・ポウリング部門の反動減、映画部門の他社シネコン出店による競争激化の影響等がありましたが、スガイディノス旭川がゲームを中心に予想を上回ったことなどにより、69億23百万円（前期比9.8%増）と増収となりました。

利益につきましては、経常利益4億17百万円（前期比9.8%増）、当期純利益1億80百万円（前期比18.4%増）となりました。スガイディノス旭川の業績が予想を上回ったこと、並びに売上高の内訳において利益率の高いゲーム部門の売上構成が予想を上回ったことなどにより、3期連続で増益となりました。

部門別の概況

（アミューズメント施設部門）

ゲーム部門につきましては、前期好調だった既存施設の反動減がありましたが、スガイディノス札幌に大型メ

ダルコーナーを新設したこと、スガイディノス旭川の業績が予想を大きく上回ったことなどにより、売上高は前期比20.9%増と上回りました。

ポウリング部門につきましては、前期好調だった既存施設の反動減がありましたが、スガイディノス旭川の売上が寄与したこと、団体勧誘活動の強化やSFC（スガイファンクラブ）会員の新しいシステム導入などにより、売上高は前期比4.4%増と上回りました。

カラオケ部門につきましては、競合店増加の影響等により前期比17.8%減となりました。

その他アミューズメント部門につきましては、前期好調だったビリヤードにおいて既存施設の反動減がありましたが、札幌スガイビルへのダーツバー新設をはじめとするダーツの導入、スガイディノス旭川の売上寄与などにより、前期比12.8%増と上回りました。

以上の結果、アミューズメント施設部門売上高は、58億39百万円（前期比11.6%増）となりました。（映画興行部門）

映画興行部門につきましては、他社シネコン出店による競争激化等がありましたが、スガイディノス旭川の売上が寄与したこと、「ファインディング・ニモ」・「ラスト サムライ」・「ロード・オブ・ザ・リング 王の帰還」等の大ヒット作を上映できたことなどにより、映画興行部門売上高は7億93百万円（前期比9.8%増）と増収となりました。なお、函館と旭川の老朽化した映画館（4スクリーン728席）を平成16年3月に閉館し、札幌スガイビル内の1スクリーン（63席）を平成15年12月ダーツバーに転換しました。（レンタル・リサイクル事業部門）

ビデオレンタルと中古ソフトの買取販売を営むGEOショップにつきましては、競合店の増加、並びに売上重視から利益重視に方針を変更したことなどにより、レンタル・リサイクル事業部門売上高は、2億76百万円（前期比16.9%減）と減収となりました。

貸借対照表

(単位：千円)

資産の部			負債及び資本の部		
科 目	金 額		科 目	金 額	
	第50期 平成16年3月31日現在	第49期 平成15年3月31日現在		第50期 平成16年3月31日現在	第49期 平成15年3月31日現在
流動資産	1,827,809	1,690,430	流動負債	1,936,785	2,102,181
現金預金	1,438,471	1,295,929	買掛金	87,635	77,424
売掛金	53,833	40,841	短期借入金	-	420,000
有価証券	110,444	130,416	一年以内償還予定の社債	35,000	-
商品	51,769	58,178	一年以内返済予定の長期借入金	1,174,760	1,052,490
貯蔵品	38,972	35,292	未払金	292,225	268,456
前払費用	59,729	53,728	未払費用	48,878	43,086
繰延税金資産	67,485	61,971	未払法人税等	182,616	135,497
未収入金	3,298	11,327	未払消費税等	38,025	40,955
その他	3,953	2,913	前受金	13,106	2,087
貸倒引当金	△ 150	△ 170	預り金	14,677	12,728
固定資産	13,113,507	12,797,910	賞与引当金	49,854	49,436
有形固定資産	11,243,193	11,151,860	その他	7	18
建物	4,782,596	4,995,508	固定負債	6,477,512	6,046,814
構築物	81,906	66,849	社債	192,500	-
機械装置	54,336	60,917	長期借入金	5,742,165	5,695,821
アミューズメント機器	940,537	709,701	長期未払金	226,939	15,820
レンタル用資産	21,939	24,787	繰延税金負債	46,343	32,627
車両運搬具	1,552	215	退職給付引当金	172,025	162,243
工具器具備品	157,249	90,804	役員退職慰労引当金	91,284	131,441
土地	5,203,075	5,203,075	預り敷金	6,255	8,859
無形固定資産	9,222	8,283	負債合計	8,414,298	8,148,996
電話加入権	8,127	8,024	資本金	948,775	948,775
ソフトウェア	1,094	258	資本剰余金	1,128,995	1,128,995
投資その他の資産	1,861,091	1,637,767	資本準備金	1,128,995	1,128,995
投資有価証券	174,289	115,223	利益剰余金	4,420,614	4,261,473
出資金	576	576	利益準備金	61,000	61,000
長期貸付金	375,582	490	任意積立金	4,090,946	3,961,767
長期前払費用	56,475	16	固定資産圧縮積立金	200,946	201,767
差入保証金	1,254,144	1,099,458	別途積立金	3,890,000	3,760,000
仮払建設協力金	-	422,000	当期末処分利益	268,668	238,706
その他	23	2	株式等評価差額金	28,632	99
資産合計	14,941,316	14,488,340	資本合計	6,527,017	6,339,343
			負債及び資本合計	14,941,316	14,488,340

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位：千円)

科 目		金 額	
		第50期 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで	第49期 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
経常損益の部	営業収益	6,923,074	6,307,311
	営業売上高	6,923,074	6,307,311
	営業費用	6,319,318	5,709,237
	売上原価	5,526,502	4,994,868
	販売費及び一般管理費	792,816	714,369
	営業利益	603,756	598,074
	営業外収益	24,513	8,468
	受取利息及び配当金	7,694	1,215
	アミューズメント機器売却益	2,042	345
	地域雇用促進奨励金等	8,065	-
保険金収入	-	2,492	
損害賠償収入	-	2,095	
その他	6,710	2,319	
営業外費用	210,976	226,602	
支払利息	166,860	164,796	
社債費用	5,810	-	
アミューズメント機器処分損	33,645	61,202	
その他	4,660	604	
経常利益	417,292	379,939	
特別損益の部	特別利益	-	1,008
	退職給付引当金戻入額	-	1,008
	特別損失	59,953	109,922
	固定資産除却損	56,522	37,245
	投資有価証券売却損	-	177
	投資有価証券評価損	-	16,361
	リース解約損	-	33,438
	借地権償却損	-	22,700
その他	3,431	-	
税引前当期純利益	357,338	271,025	
法人税、住民税及び事業税	187,818	140,702	
法人税等調整額	△ 11,138	△ 22,269	
当期純利益	180,658	152,592	
前期繰越利益	88,009	86,113	
当期末処分利益	268,668	238,706	

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(第50期) 1.有形固定資産の減価償却累計額 10,789,373千円
 貸借対照表・損益計算書 2. 商法施行規則第124条第3号に規定する純資産額 28,632千円
 の注記 3. 1株当たり当期純利益 41円98銭